

サクサ テクノ株式会社 実装基板の検査にJTAGテストを採用！



saxa サクサ テクノ株式会社

サクサ テクノ株式会社

サクサ テクノ株式会社(山形県 米沢市)は、いままで培ってきた基板実装・無線メカトロの製造技術を基に、部品調達・基板実装・製品組立・出荷保証・保守まで一貫した生産プロセスを提供し、「お客様の信頼を得るため品質を最優先する」を品質方針に掲げ信頼され愛される商品づくりに取り組んでいます。

BGA搭載基板の不良箇所をピンレベルで特定して製造品質を向上！

● 2010年よりJTAGテストを採用

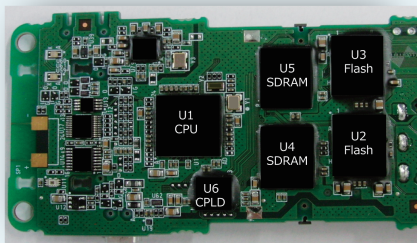
サクサ テクノ株式会社は、通信機器の大手であるサクサ株式会社の製品製造を担っています。現在、ビジネスホンやICカードリーダー関連製品を中心とした製造を行っている企業です。

生産技術部では、2010年よりBGA搭載基板の故障解析のためJTAGバウンダリスキャンテスト(JTAGテスト)を採用しました。

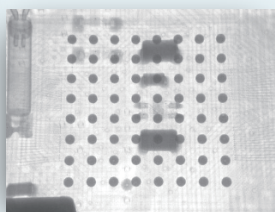
JTAGテストの導入後は、BGAパッケージを多数搭載した高密度なプリント配線板に対しても、十分な品質確保ができます。

● ファンクションテストでは故障箇所の特定が困難

BGAが多数搭載されており、テストピンを十分に立てることができないため、ファンクションテストを実施しました。しかし、不良原因を十分に特定することはできませんでした。JTAG Technologies社のJTAG ProVisionを導入することにより、ピンレベルで故障箇所の特定ができるようになりました。



BGA搭載基板



X線検査の結果

● X線検査ではBGAのオープン故障が判断できない

X線検査は、検査担当者の目視により検査が行われますが、オープン故障を見つけることは困難です。

JTAGテストは通電試験であり、テストを自動化できるため、製品の品質を向上することができました。

－ お客様の声 －

● JTAGテスト採用による効果は？

BGA部分の品質をファンクションテストで保証すると製品全体の試験時間が増大します。このため、確実にBGAの実装保証ができ、不良原因の特定が短時間で行える有効な手法として、JTAGテストを採用しました。

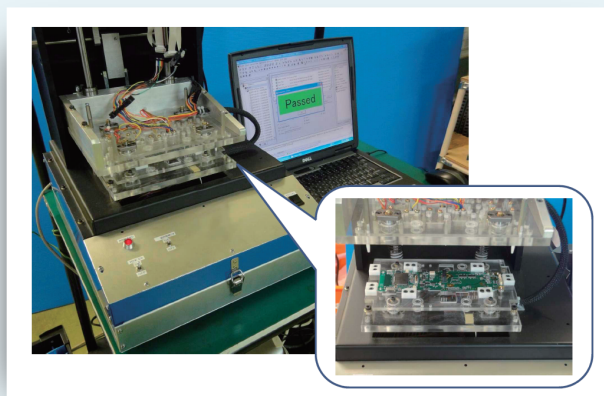
● JTAG ProVisionを採用した理由は？

導入検討の際に、複数のJTAGツールベンダーに問い合わせをしましたが、十分納得できる情報を提供するところは多くありませんでした。

その中で、アンドールシステムサポート(株)は問い合わせに対し迅速で、技術サポートも満足いくものでした。

● 御社が感じるJTAGテストのメリットは？

フラッシュメモリ部のファンクションテスト時間が240秒から30秒になり、検査タクトの大幅な短縮を実現できました。そのため、工場全体の稼働効率向上に繋がり、SMTラインを効率的に運用できるようになりました。



JTAGテストを組み込んだ検査治具

